



### 山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

## CONTENTS

- ・冬の青空☆ワイルドレストラン/山形うるかむ号2月予定
- ・山形県情報 Let's Action! ママチャレ隊/写真展  
要望書を院内集会へ/ Happy Smile
- ・コラム しあわせココロのつくりかた⑥
- ・キッズレター ・おすすめ情報 ・おうえんメッセージ
- ・みんなの声 ・ひと休み ・編集部より ・避難者受入状況

# 第33号

つながろう! ささえあおう!  
復興支援プロジェクトやまがた  
TEL 023-674-7311  
E-mail kizuna@yamagata1.jp  
発行数: 4,000部

## 冬の青空☆ワイルドレストラン

手作りの広場は、朝から大賑わい。晴天にも恵まれ、現地に準備された大きなチューブ・スライダー場や、雪上トランポリンなどで子どもたちは大フィーバー。北海道から狩ってきた鹿肉を振舞うイベントも協力者の方が催し、押せや押せやの大騒ぎとなりました。途中からチラチラと降ってきた雪の中、悪戦苦闘しながらバームクーヘンを作るチームもあり、



1月20日(日)、「ユギデアソブベシタ、ワイルドに楽しむベシタ!」を合言葉に、米沢市の南端にあるわんぱく広場「ソドデアソビダイベシタ」に100名近い人々が集まりました。  
この企画は、福島の子どもたちに、思いつき雪遊びをしてもらったり、アウトドアの中でワイルドな昼食を楽しんでもらおうという目的で開催されたもの。



人々の熱気が周囲の雪をジワジワ溶かしていくような空間でした。  
「福島から、簡単に来ることができ」「思いつき外遊びができる」「すぐ帰ることができる」の3拍子そろった広場「ソドデアソビダイベシタ」が本格始動した記念日となりました。(Hiorpy)

### ソトデアソビダイベシタの問合せ先

〒992-0039 米沢市門東町3-3-7  
NPO 法人おいたまサロン2F  
「助け合い育児スペース ふわっと」  
電話 070-5473-8543  
月～金 10:00～16:00  
E-mail little\_fukushima\_in\_oitama@yahoo.co.jp



## 福島ー山形をつなぐ週末移動支援バス「山形うるかむ号」2月の運行予定

### [申込み方法]

メール(shienbus2013@gmail.com)のタイトルに「支援バス予約」と入力し、本文に、代表者氏名、携帯番号、避難元住所・避難先住所、乗車日、便名、乗降場所、同乗人数(大人〇名、子ども〇名)、山形県庁に土日駐車する場合は車のナンバーを記載して送信してください。

shienbus2013@gmail.comに件名「時刻表希望」と送ると(本文不要)、時刻表が自動返信されます。右のQRコードを読み取り送信してください。

### ～山形と福島で離れて暮らす方、

保養で訪れる家族のための移動支援バスです～

- 山形に避難している方とその家族や近親者、友人等ご利用ください
- 福島から山形へ週末保養やリフレッシュ目的で訪れるご家族のためのバスです ※ビジネスや観光・ショッピング等目的での利用は出来ません。
- ※協力金(500円程度)を任意でお願いしています。 ※天候等の理由により変更・遅延が生じる場合があります。

### ■土曜日

山形発	101便	103便	福島発	102便	104便
○山形駅(東口)	8:00	10:30	○福島駅(西口)	8:00	10:30
○山形県庁裏	8:10	10:40	○福島県庁	8:10	10:40
△福島県庁	9:40	12:10	△山形県庁裏	9:40	12:10
△福島駅(西口)	9:50	12:20	△山形駅(東口)	9:50	12:20

○乗車のみ △降車のみ



### ■日曜日

山形発	203便	福島発	202便
○山形駅(東口)	20:00	○福島駅(西口)	17:30
○山形県庁裏	20:10	○福島県庁	17:40
△福島県庁	21:40	△山形県庁裏	19:10
△福島駅(西口)	21:50	△山形駅(東口)	19:20

○乗車のみ △降車のみ

【問合せ・申込み】 絆の架け橋推進協議会 ☎ 090-3756-9755 (本田携帯) 主催: 絆の架け橋推進協議会(土日便)、山形ボランティア隊(金曜便)

「つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた」事業は、「山形県平成24年度復興ボランティア支援センターやまがた運営補助金事業」の補助を受けて活動しています。

### ママのチャレンジ 「ママチャレンジショップ隊」



山形市の「ふくしま子ども未来広場」を会場に、月1〜2回「ママチャレンジショップ隊」が開催されています。1月は17日に開催され、羊毛フェルトやパステル画の手作り体験

ネイルやアロマサービス、ハンドメイド品や焼き菓子などの販売ブースが設けられました。

ここで出店しているのは、避難のために山形に来たママたち。もともと技術を持っていた人も、山形に来てから技術を身につけた人もいます。

メンバーの新川さんは、避難所で生活していた頃、アロマのサービスを受けてとても感動し、以来アロマの勉強に励み資格を取得。この日はアロマトリートメントをしてもらっていました。

焼きたてのパンを販売している石川さんは、料理やハンドメイドの腕前を活かし、「moufie」という名前で交流の場を開催し続けています。

メンバーそれぞれが特技を持ちより、その楽しさや美味しさを提供してくれる

「ママチャレンジショップ隊」。2月は21日開催予定です。

(詳しくは「おすすめ情報」をご覧ください)



## Let's Action!



### 避難の想いを写真に

1月から2月中旬にかけて、山形市の美容室「Hair with water」で、神野彩佳さんの写真展が開催されました。

神野さんは、2011年夏に山形市へと避難。1歳にも満たない息子を抱き、夫と離れての母子生活。日々の暮らしや、夫への想い、つかの間

の休日。写真とともに綴られた詩には、その想いが語られています。「東京で見にきてくれた人が『こんな生活をする人がいることを知らなかった』と言ったそうなんです。私の写真でそれが伝わるなら、多くの方に見ていただきたいと思うようになりました。」

写真展は口コミで広まり、2月下旬からは宮城県内での開催も決まりました。「避難されている方は複雑な思いをたくさんしています。でも、自分の思いを否定しないで、見つめて、認めて、伝えてほしい。前向きでなくていいから、目をそらさないでほしいんです。悪いことをしているわけではな

いんですから。」

神野さんはもうすぐ2人目を出産予定です。撮る喜びもまた増えそうです。(海)



### 寄稿 Sさんより

震災当時、娘は6才と3才。郡山でのストレスフルな生活から解放され、南陽の生活は震災前の当たり前の日常を取り戻し、当たり前前の生活がいかに尊いことか気づかされ、心から笑える生活を取り戻しました。

でも、精神的にも落ち着いてくると「いつまでここに？」の悩みが頭から離れず、次から次へと問題が待ち受けている状況に辟易する日々。

そんな日は、公衆浴場へ行って温まり、ほっこりする！ こうして当たり前の日常を送れる感謝と、支援助けてくださる山形の方々の優しさに触れ癒され、なんとかここまで来ました。

もし自主避難をせずに子どもに健康被害が出してしまったら……決断させたのは子どもの笑顔のためでしょうかありません。この選択が最善なのか解りませんが、避難生活の期限は、4年後の福島の状態をみて出す予定です。それまでは、山形の四季を楽しみながら出会いを大切に生活したいと思えます。

これからも、皆さんよろしくお願

いいたします。(郡山市→南陽市 S)

### シアワセコラム

### しあわせココロのつくりかた ⑥

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

新しい年の抱負を立てる。皆さんはどんな年にしたいと思いませんか？

先日、「今の生活が不安定でこれからどうなるかわからないのに希望なんて持てない」と嘆く方に出会いました。未来に希望が持てないこと程ツライことはないかもしれませんが。私は彼女に「近々の未来への希望が持てないなら、ずっと先の自分をイメージしてみて。60や70代の自分はどんなおばあちゃんになりたい？」と。ちょっと考え込んでから答えた彼女。「元気ハツラツ。背筋がピンと伸びてカッコイイおばあちゃん」と。「そんなおばあちゃんになるためには、どんな努力が必要だろう？」そんなやりとりを繰り返しているうちに、女性の顔には笑顔が戻りました。

今に悩みが多すぎる時は、遠い未来の自分に思いを馳せてみるのも一案なのです。



### 要望書を院内集会へ届けました

「原発事故子ども被災者支援法に基づく施策の早期実現を求める院内集会」が1月22日、参議院議員会館で行われました。

この集会上に要望書を届けるきっかけとなったのは、昨年の12月。藤田亜希子さんが「原発事故子ども被災者支援法を考える山形会議」をスタートさせたことです。「支援法は、当事者である私達が声をあげる事がとても重要なのです」と、避難者、支援者、福島の方々に呼びかけ、約200名の要望書を集めました。

「みんなから集まった要望書を、意味のある形で渡したい！」という藤田さんの思いを引き継ぎ、山形から避難者を代表して菅野さん、高橋さん、丹治さんらが、切実な思いや希望が詰まった要望書を、大臣・国会議員の先生方に直接届けました。

院内集会の中では、一人ひとりに発言の時間が設けられました。「いくら避難の権利だけが認められても、避難に伴う様々な痛みに対する具体的な支援がなければ避難の継続は困難です」「一日も早く本当に支援を必要としている方のための法律にして欲しい」と強く訴えかけました。

「支援法はこれからです。私たちに深くかわる法律です。これからも継続して要望を出していくことが必要です。基本方針ができていくなかで、また違う要望がでてくるでしょう。その時は是非一緒に要請していきましょう。」と藤田さんは語ります。

私達大人ができる事は、声を上げること。子ども達が笑顔で過ごせる未来のために…

(S)



### 地元ママさん演奏とオーガニック野菜ランチのひととき



高畠町避難者交流サークル「Happy Smile」は、1月25日、山形県置賜保健所主催による「避難ママを対象としたセルフリラクゼーション講習会」に参加し、主に米沢市で活動している地元ママさん達の「ばすてる音楽隊」の演奏と「moto808」さんのオーガニック野菜ランチを楽しみました。

まず始めは、moto808さん実演による香味野菜ドレッシングの作り方から。にんにく、しょうが、長ねぎをなたね油で煮ます。部屋中に食欲をそそる香りが広がりました。

ドレッシング作り後は、「ばすてる音楽隊」の演奏を聞きました。手遊び歌から始まり、耳馴染みのある曲を披露してくれました。アンコールの後は、お待ちかねのオーガニック野菜ランチを頂きました。

ゆったりとした時間の中、至福のひとときでした。講習会にご尽力頂いた皆様、本当にありがとうございます。(SA)

### みんなの声 motto

●山形に来て、たくさんの人にお世話になっていきます。感謝の気持ちでいっぱいです。今年六年生になる息子は、野球のスポ少でがんばっています。

(郡山市↓寒河江市)

●中三の娘がいよいよ受験です。つい最近、山形の県立高校に入学しても、住民票は福島のままに通うことができるということがわかり安心しました。あとは無事合格してくれることを祈るばかりです。

(福島市↓山形市)

●山形でたくさんのお友達も出来、毎日楽しく過ごさせて頂いています。このままここで暮らしたいくらいです。

(福島市↓高畠町)

●こないだダイヤモンドダストを見ました。雪が多くて苦労してたけど、これには感動！もう少しの間寒いのも楽しみたいです。

(福島市↓高畠町)



『避難犬 ちび』

ちびを飼い始めたのは、私が七歳の時です。

捨て犬だったちびはとても荒れていて、怖い顔の犬でした。そんなちびを引き取って月日が過ぎました。丸い目、キツネのような輪郭、愛らしい雰囲気身をまとう優しい犬。ちびは本当に良い子になりました。

そして現在、ちびは震災の影響で東京で暮らしています。私のいる山形とちびのいる東京。なかなか会うことができません。しかし、その分会えた時は私に飛びついてきます。ちびとは遠く離れていて寂しいと思うこともあります。でも、次会える日を待つことも一つの楽しみです。

同時に、ちびを預かってくれたいる祖父の家に感謝し、これからもちびをお願いしたいです。ちび、元気ですか？

(中学3年 浪岡 志帆)

「みんなの声」につぶやきを送ろう

メール kizuna@yamagata.jp に、タイトル「みんなの声」で送信してください。以前と今のお住まいの市町村も添えてね。



# おすすめ情報

## ■東日本大震災 三回忌慰霊並びに復興祈願法要

東日本大震災三回忌(二年)に当たり、犠牲となった方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々及び被災地の一日も早い復興を祈願するものです。

日時: 3月9日(土) 10:30~12:00

場所: 圓應寺(山形市宮町4丁目16-33)

参加対象: 県内に避難されている被災者の方とその関係者(宗派は問いません)、管内寺院住職・檀信徒や地域住民(真言宗智山派の檀信徒の方は、菩提寺を通して参加申込みをして下さい)

内容: 読経(法要・祈願)、御詠歌奉呈、写経奉呈、癒しの合唱(タウベンコール)

費用: 参加無料

[問合せ] 圓應寺(エンノウジ)

TEL: 023-622-3937(夜は8時までにお問い合わせ下さい)

主催: 真言宗智山派山形村山教区

協賛: 真言宗智山派山形庄内教区 真言宗智山派山形置賜教区



## ■被災者応援プロジェクト ひまわりマッサージ

あん摩マッサージ指圧・はり・きゅう(すべて厚生労働大臣免許)

営業時間: 9:00~18:00(定休日: 毎週日曜日)

住所: 山形市中野533-2

料金: 詳しい内容はお問い合わせ下さい。

※完全予約制になっております。

※お越しの際は被災者証明をご持参ください。

[お問合せ先] 023-681-3472 多田祐也(9:00~18:00)

## [置賜地区]

### ■原子力損害賠償支援機構【無料相談会のご案内】

(1) 2月22日(金) 米沢市置賜総合文化センター

(2) 2月23日(土) 長井市交流センター「ふらり」中央地区 公民館2F 実習室(長井市屋城町6-53)

相談時間: 10:00~16:00(12:00~13:00 休憩)

※無料個別相談は1回1時間以内、継続相談も無料。

★託児室のご案内(米沢市会場のみ)

託児を希望される場合は、個別相談の事前予約の際に託児を希望する旨をお伝えください。尚、受け入れ枠数の関係上、必ず事前予約をお願いいたします。

託児対象: 基本的に満1歳以上、風邪等の疾病に罹患していない未就学児のお子さん

※対象外年齢のお子さんに関してはご相談ください。

※託児をお申し込みされた方は、託児室をご案内しますので、当日受付までお越し下さい。

※無料個別相談は、事前予約をお願いいたします。

[問合せ] 予約ダイヤル 0120-330-540

予約受付時間: 9:00~17:00(年中無休)



## [最上地区]

### ■遊学の森『自然観察などをしてリフレッシュしよう!』

自然観察や木工クラフト体験をしてリフレッシュしませんか?

期間: 2月、3月(休館日、イベント日を除く)

内容: 自然観察及び木工クラフト体験

(食の体験及び主催プログラムを除く)

参加対象: 被災3県の方

参加料: 無料

定員: 毎月先着5家族限定

持ち物: 防寒具、長靴、着替え、飲み物、内履き等

締切日: 定員になり次第締切とさせていただきます。

[会場・問合せ]

山形県遊学の森「木もれび館」

(山形県最上郡金山町大字有屋1761)

休館日: 月曜日、祝祭日の翌日

TEL: 0233-64-3305 FAX: 0233-64-3306

E-mail: yugaku@cello.ocn.ne.jp

HP: <http://www.town.kaneyama.yamagata.jp/yugaku/index.html>



## [庄内地区]

### ■岩手・宮城・福島から酒田におひっこしてきたママさんたち、おうちでできるハンドマッサージ講座しましょ♪

慣れない土地で、突然の生活や子育てを頑張っているママさん。お茶会で、みんなでワイワイおしゃべりしませんか?

今回は、おうちでできるハンドマッサージ講座も行います。おしゃべりに花を咲かせつつ、自分でできるリラックス方法も学んでみませんか?

日時: 2月25日(月) 10:00~12:00

場所: にこっとスタジオ(にこっと広場の裏手別棟)

対象: 庄内に避難・お引越してきたママさん方

☆ママだけ・お子さん連れ・お子さんのいらっしゃる方でも参加OKです。

講師: 針きゅう《もきゅあ》茂木想子さん

申込み〆切: 2月21日(木) お電話にてお申し込みください。

主催: 庄内保健所子ども家庭支援課

[共催・申込み] NPO法人にこっと TEL: 0234-23-6330

## ■みんなあつまれ! あそびのひろば♪

10:15~と11:00~は三浦先生の触れ合いあそび!(参加自由♪) 踏むと音が鳴る「ドレミでぴよんぴよん」など体を使って遊ぶおもちゃや「ビニール袋バルーン」・「仲良しびな」の制作コーナーでも自由にあそべるよ♪参加は無料です♪

日時: 3月2日(土) 10:00~11:30(受付9:30~)

場所: 鶴岡市藤島体育館(1階アリーナ)

講師: 三浦利由喜氏(スポーツクラブ トライ代表)

対象: 未就学児とその保護者

持ち物: 内履き

定員: 50組(先着順)

申込み: E-mailに参加者全員のお名前、ご住所、お子様の年齢を記載してお申し込み下さい。(必ずご本人がお申し込み下さい。団体でのお申し込みはご遠慮下さい。)

※定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。申込み結果は返信メールでお知らせします。(受信設定にご注意ください。)

申込み先: E-mail: [yshonaikodomo@pref.yamagata.jp](mailto:yshonaikodomo@pref.yamagata.jp)

※2月5日(火)受付開始!

[問合せ先] 庄内総合支庁子ども家庭支援課(担当: 富樫)

TEL: 0235-66-2104



みなさまからの情報をお寄せ下さい!

避難されている方からの声やご要望、「うるかむ」設置場所のご要望、山形の方からのメッセージやイベント情報など、みなさまからの情報をお待ちしています。お気軽にお問合せください!

## ■復興ボランティア支援センターやまがた

[住所] 山形県山形市松山3丁目14番69号(FM山形ビル1階)

[開館時間] 10:00~16:30 [休館日] 土日祝、年末年始

[TEL] 023-674-7311 [FAX] 023-674-7312 [E-mail] [kizuna@yamagata1.jp](mailto:kizuna@yamagata1.jp)

[ウェブサイト] <http://kizuna.yamagata1.jp/>

**[県からのお知らせ]**

山形県では、東日本大震災により被害を受けたと認められる方に対して県立高等学校の受験料及び入学料を免除しています。

具体的な要件等の詳細につきましては、県ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700001/jukenryo.html>)

ご不明な点は、教育庁総務課 (tel:023-630-2233) までお問い合わせください。



**[村山地区]**

■東日本大震災復興支援上映

「**ともにある Cinema with Us 忘れないために 1**」

<津波のあとの時間割 ～石巻・門脇小・1年の記録～>

監督：青池憲司

震災後の6月から1年、教室と地域、子どもと大人の再生の日々、石巻の四季とともに織り上げた作品。

- ・3月1日(金) 10:00
- ・3月2日(土) 10:00 (上映後監督トーク)

<なみのこえ> (制作中) 監督：濱口竜介、酒井耕

1年以上インタビュー活動を継続し、宮城県気仙沼市と福島県新地町の被災者約20名のインタビューを『なみのこえ』としてまとめた作品。

- ・3月2日(土) 13:30 (上映後監督トーク)
- ・3月3日(日) 16:00

<二重被爆～語り部 山口彊の遺言>

監督：稲塚秀孝/語り：加藤登紀子

1945年広島、長崎。被爆後60年余り歴史に埋もれてきた「二重被爆者」山口彊さんの反核への思いを追い続けた軌跡。

- ・3月1日(金) 12:45
- ・3月2日(土) 18:10 (上映後監督トーク)

<放射線を浴びた[X年後]> 監督：伊藤英朗

1954年にアメリカが行ったビキニ水爆実験。高知県の港町で地道な調査を続けた教師や高校生たちの記録。

- ・3月1日(金) 14:35
- ・3月3日(日) 10:00 (上映後監督トーク)

<プリピャチ> 監督：ニコラウス・ゲイハルター

チェルノブイリ原子力発電所から約4kmに位置する街、プリピャチ。原発や関連施設で働く人々や帰還した人々など、

立入禁止区域で生きる人々を、モノクロの映像で記録していく。

- ・3月1日(金) 16:40
- ・3月2日(土) 20:30

<天に栄える村> (制作中) 監督：原村政樹

福島県天栄村に安全で美味しい米作りを実践する農家のグループ、「天栄米栽培研究会」がある。彼らは国や県に頼らず自力で「米の放射能汚染ゼロ」への挑戦を始めた。

- ・3月1日(金) 19:10
  - ・3月3日(日) 12:40 (上映後監督+関係者トーク)
- 会場：フォーラム山形(シアター4) 山形市香澄町2-8-1 (TEL: 023-632-3220)

料金：1プログラム 前売800円(当日1,000円)

3プログラム 前売2,000円

※当日は1プログラム券のみの販売となります。

※チケット販売先：フォーラム山形、本町プレイガイド、八文字屋 Pool、大沼デパート7F、十字屋デパート1F、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー(ビッグウィング3F)、山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局(山形市木の実町)、復興ボランティア支援センターやまがた

[主催・問合せ]

(特活) 山形国際ドキュメンタリー映画祭2013(山形市木の実町9-52 木の実マンション201)

TEL: 023-666-4480 E-mail: info@yidff.jp

<http://www.yidff.jp/home.html>



■「chiku + chiku cafe」with ママチャレショップ隊

少し避難生活にも慣れてきた避難ママの「チャレンジしたい!」という想いからスタートしたこのイベント。多くの方にお越し頂ければ嬉しいです。地元山形の方も参加OK~♪ぜひ皆様お誘いの上、お越し下さい☆

日時：2月21日(木) 10:30~14:00

場所：ふくしま子ども未来ひろば(山形市香澄町2-8-1 2階)

内容：パステル和みアート・羊毛フェルト・アロマなどのワークショップ・ハンドメイド作品の販売

※それぞれ参加費は異なります。

[問合せ] TEL: 090-5833-5740 (新川)

☆フォーラム立体駐車場をご利用の方には2時間まで無料駐車券を配布します。

**うえるかむは県内各地で設置しています**

【山形市】復興ボランティア支援センターやまがた/村山総合支庁/山形県庁1Fロビー/山形市内の公民館・コミュニティセンター(28施設)/山形県立博物館/山形市避難者交流支援センター/山形市総合福祉センター/山形テルサ1F/百目鬼温泉/真宗大谷派山形協会/立石寺華蔵院/ままカフェ@home/福山ひろば/ふくしま子ども未来ひろば/あいびい保育園/りとの福島事務局/山形市市民活動支援センター/チェリア/イオン山形南店/おーばん山形東店・山形嶋店/生活協同組合共立社(CO-OP)(山形県内)/ひまわりマッサージ【山辺町】おーばん山辺店【天童市】天童市避難者サロン・AtTendoひろば【寒河江市】寒河江市社会福祉協議会/フローラ寒河江1F避難者交流ひろば/村山総合支庁西庁舎/寒河江市立図書館/寒河江郵便局/ゆ〜チェリー【上山市】上山市社会福祉協議会【東根市】東根市タントクルセンター/おーばんさくらんぼ東根店【村山市】甌葉プラザ/おーばん村山店【米沢市】置賜総合支庁/米沢市避難者交流センターおいで/米沢市社会福祉協議会/米沢市すこやかセンター/アクティー米沢/米沢市立児童会館/書店HARATOKU/鷹山の湯/おいたまサロン・ふわっと/moto808【南陽市】南陽市社会福祉協議会【飯豊町】道の駅いいでめぎみの里観光物産館【高島町】高島町役場1F/浜田広介記念館/永和軒【川西町】おきたまネットワークサポートセンター/おもいで館【鶴岡市】鶴岡市立図書館/フクシマの子どもの未来を守る家【酒田市】酒田市ボランティアセンター/酒田市公益活動支援センター/いなかフェ【庄内町】庄内町社会福祉協議会【三川町】庄内総合支庁/イオンシネマ三川【新庄市】最上総合支庁【金山町】山形県遊学館「木もれび館」【その他】元気玉プロジェクト推進本部(福島県会津若松市)/うつくしまNPOネットワーク(福島県郡山市)/NPO法人福島ライフエイド(福島県福島市)/東北自動車道管生PA上下(宮城県柴田郡)/東北ろっけんパーク(宮城県仙台市)

## やまがたの避難者受入状況 2013.1.17 現在

合計 10,187 名

福島県から 9,611 名 宮城県から 519 名 その他の県から 57 名

### 〔村山地域〕

山形市：3,875 名  
上山市：197 名  
天童市：640 名  
寒河江市：418 名  
村山市：51 名  
東根市：296 名  
尾花沢市：15 名  
山辺町：45 名  
中山町：20 名  
河北町：65 名  
西川町：3 名  
朝日町：12 名  
大江町：7 名  
大石田町：1 名

### 〔最上地域〕

新庄市：65 名  
金山町：8 名  
最上町：12 名  
舟形町：11 名  
真室川町：3 名  
大蔵村：0 名  
鮭川村：3 名  
戸沢村：2 名

### 〔置賜地域〕

米沢市：2,737 名  
長井市：238 名  
南陽市：335 名  
高島町：280 名  
川西町：55 名  
小国町：7 名  
白鷹町：20 名  
飯豊町：44 名

### 〔庄内地域〕

鶴岡市：339 名  
酒田市：343 名  
三川町：14 名  
庄内町：10 名  
遊佐町：16 名



- ★12月21日から1月17日までで416人減少しました。
- ★この人数は山形県が発表したものです。市町村で把握している人数と異なる場合があります。

♡♡♡♡♡ おうえんメッセージ

## 天童市避難者支援サロン & AtTendoプロジェクトより



山形県のほぼ中央に位置する天童市。同市には、支援拠点としてキッズルームを備えた「避難者支援サロン」が開設されています。

火・水・金は「天童市」が、木・土・日は「AtTendoプロジェクト」が同場所を借りて運営しており、避難ママが10時から15時まで常駐しています。天童の皆さん、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

### 山形県に避難しているすべての方へ

つながろうNET



本紙の情報だけでなく、リアルタイムなおすすり情報やイベント情報、うるかむスタッフや支援者さんのブログなどを掲載しています。

モバイル、スマホOK!  
<http://tsunagarou.net/>

### 休日保養のホームページができました

福島などにお住まいの皆さんも山形でゆっくり過ごしていただけるいろいろな企画がありますよ！



<http://tsunagarou.net/hoyou/>



復興ボランティアセンターやまがた



@fukkou\_center

## ひと休み

## まいたけのハッシュドビーフ

<材料> 4人分

牛もも薄切り肉 300g  
たまねぎ 2ヶ  
まいたけ 1パック  
固形スープの素 1ヶ  
ドミグラスソース(1缶290g) 1缶  
水 160cc  
バター 大1  
塩 少々  
こしょう 少々  
ワイン 40cc

<作り方>

- ① 肉はひと口大に切る。たまねぎとまいたけは、薄切りにする。
  - ② バターでたまねぎを色がつくまで炒め、次にまいたけは小房に分けて、加えて炒める。肉を加えて強火で炒め、塩、こしょうで薄く味をつける。
  - ③ ②にワイン、ドミグラスソース、スープを様子を見ながら加えてのばし、煮立ったら弱火にして、少し煮てから塩、こしょうで味を調える。
- ※ 火を止めてから、最後にバター(分量外)を少し入れると、いっそう美味しく仕上がる。

レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん



支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/> 編集部より

### 次号は2月27日発行です

おすすめ情報や記事の投稿は  
2013年3月13日号分を  
2月25日まで受け付けます！

### 避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つながろう！ささえあおう！  
復興支援プロジェクトやまがた  
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号  
「復興ボランティア支援センターやまがた」  
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312  
E-mail kizuna@yamagata1.jp  
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

- 知人から手づくりゆず茶をいただきました！市販品とは比べ物にならないくらいおいしくてびっくりでした。手間ひまかけたものはやっぱり違いますねえ。身も心も温まりました♪(みほっち)
- 急激に避難者が減り不安だとの声がありますが、借上げ住宅の週末利用世帯や再度の原発事故避難に備え住んでいないが借りたままの世帯の契約延長は認められず、数字上の避難者が急激に減っているのではないかとこの説もあり、そう心配する事もないのではないのでしょうか？(E)
- 避難元の人には知られたくないから困り事があっても声を上げられない、というご年配の場所の方にお会いしましたが、ママさん向けの方は本音で話せる場所が未だ見つげづらなのが現状。気持ちのほけ口がない時は、ぜひこども頼ってください。(多田)
- 復興センター前に作ったバケツ雪灯籠を通りすがりの小学生に破壊されました。トホホ……(えっちゃん)
- 岩手・宮城・福島からの避難者の方々は本当に厳しい冬ですが、いかがお過ごしですか？雪道は足元も注意が必要ですが、頭上も軒下に伸びた雪や木や電線の雪がタイミングよく落ちてくる場合があります。要注意です！(M)